日本一の”住都市ふくやま”へ

激動の時代変化の最中、私たちの生活もまた、大きく変わろうとしています。「少子高齢化社会」「労働人口の減少」「AI 技術の進展」「教育」「福祉」等など、こうした課題は決して対岸の火事ではなくなっています。
私たちが暮らすここ福山市が、市民や企業などそれぞれにとって、もっと選択肢のある豊かな街になるには？そのために必要なことは何か？
ひとつの考え方として、私の意見を披露させていただきます。皆さんにとって考えるきっかけとなれば幸いです。

有限会社 DC 開発研究所　代表取締役　村上 栄二

2020 FUKUYAMA

村上栄二 HP
「村上栄二しんぶん増刊号」
https://murakamieijicom.jimdo.com
こちらの QR コードからもアクセスいただけます。

国は 2017 年に水防法を改正しました。「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するモノ」への意識を変える事を求めソフト対策強化を図っています。
このように想定外の豪雨や災害によって、水害ゼロは不可能ですが、市民財産・資産を守るうえで「地震もない、台風もない、災害のない福山市」という言葉を前提に作られたインフラ整備から意識を変えなければなりません。主に見直すべき事案は５つです。

１：水道関連事業
・福山市では水道管老朽化により**年間 200 件の漏水事故**が既に発生
・水道料金が減る中で管路更新の課題を抱える一方、 未だに福山市は**市街化調整区域の建築許可の乱発で少子高齢化社会におけるコンパクトシティの逆行を行く中途半端な都市計画**が今なお展開。
・連携中枢都市圏を形成しながら、 この度断水した近隣市と水道管を繋げていない為に**災害時の連携の脆さ**を露呈。
・**避難所や人が集まる場所**を最優先に基幹水道管における耐震化管路更新を進めるべき。

２：直近参集制度と地域力強化を含めた減災対策
・災害時には**各支所近隣に居住する市の職員で参集**する。 さらに一年で２回は地域役員の方などと災害時組織訓練を実施すべきではないか？しかしながら、人･モノ･予算･情報が揃ったとしても**支所に決定権**を与えなければ機能しない。
・福山市は７月６日に市域全域に避難指示を発令したが、 指定避難所が開設されていなかった。**ネット情報弱者に対する配慮も必要な課題**が見えて来た。
・災害時に地域力を発揮するのは**「中学生」**を中心に地域でＤＩＧ（災害地図上訓練）を実施し、自らの目で地域の弱点を発見し、さらに**障碍者や独居高齢者といった災害弱者をチェックし、地域とのつながりを持つ。**
・高齢者施設など災害時に配慮が必要な人が利用する施設所有者や管理者は確実な避難を実現する為に避難確保計画の作成が義務付けられているが、**単体での対策では不十分。**

３：災害計画に**防災対策専門家だけではなく、気象学者・地質学者なども参加**
・福山市は**瀬戸内海式気候から亜熱帯気候へと変化**し、「地震・台風・災害もない福山市」という言葉はもう通用しないと認識する 2016 年・18 年の豪雨災害となった。
・防災対策専門家は役所の防災計画に入るが、前提として気候が大きく変わっている。**役所は過去の経緯からこれからを判断するフォアキャスト思考だが、未来を想定して今の課題に取り組むバックキャスト思考が必要**
・気象学者、天気予報士、地質学者など**これまで防災に入ってこなかった専門家の意見**を取り込む事で防災対策を考える。
・その上で**公の果たす役割と民を活用する在り方**が見えてくる。

４：クーラー設置など避難所の在り方
・ある避難所では２日間熱帯亜の中、体育館で過ごし、高齢者は情報が全く入って来ず不安な生活をしていた。
・**広島市クーラー設置率 95%ですが福山市は小中学校で４%以下。**
・**北部工業団地第二期工事に投資するならば、 クーラー設置予算は 37 億円**、時代背景、市民ニーズどちらが活きた使い道となるのか？私ならばクーラー設置に投資する。
・このような状態で**子供たちの学習環境だけではなく、災害時の避難所対策を含め必要な投資**ではないでしょうか？「災害のない街福山市･過ごしやすい福山市」はもう通用しない。

５：福山市の中途半端な都市計画
・福山市の都市計画が中途半端な形になっているのは神辺の川南で如実に出ております。
・**中四国地方に全国のため池６割が集中**しており、福山市も瀬戸内式気候の特徴で雨が少なく安定した天候という状態だったからこそ、**ため池が 2200 以上**存在します。
・昨今、**休耕田が増えて無計画な都市計画で田んぼの中に建築許可を与える事**が問題。
・当然、そういった地域はため池の氾濫と用水路などから浸水被害に合う事は当然であり、 **土地のかさ上げなどの義務付けなど**本来ならばそういった施策を条例設定すべき事案
・今回の豪雨災害で**不動産地価ならびに建物の価値も下落することが想定**される事からも**中途半端な都市計画によって資産的・財産的価値を奪ってしまった事**と同じだ。